

令和3年度 1学期始業式 式辞

昨年は、世界全体が新型コロナウイルス感染拡大といった予期せぬ事態に巻き込まれました。日本でも3月には全国の学校が一斉休校になるという事態を経験しました。ワクチンが開発されたもののまだまだ感染拡大防止への備えが必要な時が続く、本校でも昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症に対応した「学校の新しい生活様式」を踏まえた衛生管理を徹底します。

ただ、コロナ禍においては新たにオンラインによるコミュニケーションの必要性が高まるといった日常生活の変化が起きました。一方で、人と人が対面するリアルなコミュニケーションの大切さも再認識されました。本校でも同様です。オンラインで教材を配信したもののなかなかスムーズにはいったとは言いきれません。また学校が再開され、みなさんが再開し嬉しそうにする姿がそこにありました。このようにオンラインとリアルこの2つのコミュニケーションをともに大切にしたい先には、ウイズコロナ、アフターコロナとよばれるこれからの時代の、ピンチをチャンスに変えられる新しいヒントがあるのでないでしょうか。

さて、みなさんは自分の「強み」を知っていますか？みなさんが通う京都すばる高校は職業に関する専門高校です。職業につくということは「働く」ということであり、そこには3つの目的があります。1つ目は「貢献すること」、これは誰かの役に立つということです。2つ目は「自己実現をすること」、これは自分のやりがいや生きがいを得るということです。そして3つ目は、貢献と自己実現による成果としての「稼ぎ」を得るということです。本校で学び、就職する場合はもちろんのこと、大学や専門学校などへ進学する場合においても、この働く目的を達成できる人になることは、自分自身と社会の幸福の実現のためには欠かせないことであり、そのことを学んでいることは皆さんの大きな「強み」です。ただ、それを生かすことができるかどうかはみなさん次第だと思います。

誰かの役に立てる自分になるためには、自分に力をつけておくことが大切です。日々の授業や家庭学習の時間を大切にして基礎学力をしっかりと身につけるとともに各学科の目標にそった専門性のある知識と技能を身につけることが大切です。部活動で心や体を鍛える事も大切です。また、愛される人柄も大切です。各教室には校是が掲示されています「明朗」「寛容」「忍耐」、明るく朗らかな人であれ、人に対して寛容な心を持つ人であれ、時に出るくす困難な事にも辛抱できる人であれ、校是にはそんな思いが込められています。

さらに、自分のやりがいや生きがいを見つけられる人になるためには、自分の無限の可能性を信じ、様々なことに挑戦をする気持ちと自分を支えてくれている人への感謝の気持ちを持つことが大切です。その挑戦は大きな挑戦でなくてもいいのです。小さな挑戦を繰り返すことで、自分自身の可能性が広がっていく事につながるものです。昨年はしなかったこと、したかったけどできなかったことなど、新年度は新しい何かに挑戦するチャンスです。挑戦することは勇気のいることですが、その挑戦が成功に終わっても失敗に終わっても、今よりひとまわり大きく成長できるはずです。

新2年生になるみなさんはこの1年は実力をつける1年です。学習はもちろん部活動等の課外活動においても、最も伸びる1年です。新3年生になるみなさんは、実力をさらにつけるとともに、それを発揮する1年です。3年間の集大成の1年間にして令和4年の進路をつかんでください。さらに今日の午後には新入生が入学します。おそらく期待と緊張に包まれていると思います。京都すばる高校の先輩として、手本となる行動を見せて背中中新入生を引っ張ってください。また、新入生が一日も早く本校になじめるように温かく愛情をもって迎えてやるようにしてください。以上で令和3年度1学期のみなさんの活躍を祈念して、始業にあたっての式辞とします。